

12月 定例教育委員会会議録

1	日 時	令和3年12月17日(金) 午後3時30分から午後4時15分まで
2	会 場	磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室
3	出席者	村松啓至教育長 青島美子委員、秋元富敏委員、鈴木好美委員、大橋弘和委員
4	出席職員	市川 暁教育部長、神谷愛三郎教育総務課長、内藤弘隆学府一体校推進室長、 水野康代学校給食課長、吉村康宏学校教育課長、鈴木都実世中央図書館長、 伊東直久文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、川島光司幼稚園保育園課長
	傍 聴 人	0人

(進行委員：青島美子委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

○定例教育委員会にお集まりいただきありがとうございます。コロナ禍の中、教育委員の皆様方には学府協議会の参加や教育委員会の研修会に参加するなど、この1年、精力的に活動していただきありがとうございました。また、関係各課の皆さんも苦しい時間が続きましたが、感染予防を心がけ、出来ることを着々と進めていただきありがとうございました。学校においても子ども達や教職員の心を合わせ、よくここまで困難に立ち向かってきたと思います。1年を振り返り思うことは、この1年が私達にとって大きな転換期であったということです。

新しい生活様式により、子ども達や教職員、大人達の生活習慣が変化したことです。これは私達の思考形式などに大きく影響するもので、どのように自分自身や社会の考え方が変化したのかということを探っておく必要があると思います。

GIGA スクール構想も学校の景色を大きく変化させました。ここ何十年のスパンの中で考えても、これまで経験した事が無い変化であると思います。子どもや先生方は、良いツールを手に入れることができ、効率的に進められることで、新しいことにチャレンジしていけると思います。

放課後児童クラブも磐田版 MP 方式を作り、12月24日に各学校を見学しますが、これも本年度の大きな目標の1つです。

校舎整備は約5年間、大規模改修、大規模修繕、新築での一体校化など、30年から50年のスパンで教育環境を整え、経済的に無理のない形で考えてきました。しかし、事務局が検討する中で、ある公約数を見つけることで、これから30年単位の整備が見えてきたと思います。公約数とは何かというと、屋根とトイレがキーワードになります。色々な所から修理の要望がありますが、これが大きなポイントで、トイレはこれからジェンダーフリーの形で考えていくことや、男性用のトイレの形を変えるなど、色々考えられるのではないかと思います。始めに15年スパンでこの2つの整備計画を作り、その上に一体校化や大規模改修などを被せていくということです。今まで一体校型大規模改修というのは、大規模改修と修繕のパズルを並べてきてもしっくりこなかったのが、その隙間を埋めるような公約数になってきたのではないかと思います。

国分寺の整備が本格的に始まり、昭和47年の整備完成記念式の様子を写真で見ることができましたが、その頃と比べ、今回の整備は10倍くらいの規模の違いがあるのではないかと思います。ちょうど本庁舎の完成した年であり、本庁舎の骨組みが写真に写っている時です。私はこの頃高校一年生で、この辺を歩いていた記憶があります。写真を一度教育委員の皆さんにも見ていただける

と良いと思います。また、文化財保存活用地域計画について、今までにない大きな動きで整備計画を一步進めることができたと思います。今までやってきた業績を活かしながら、より良い活用方法を検討いただいています。

図書館については、貸し出しや環境整備に苦勞しましたが、電子書籍の整備や特色化など、よく努力していただいたと思います。

給食については、本日の議案にあります。持参米飯の見直しと同時に給食費も変更していくということで、大きな舵を切る状況になってきたと思います。色々なものを総合的に捉えながら一步ずつ進めていけたら良いと思います。

幼稚園も第三次の再編計画が出来上がりました。

地域づくり応援課が事務局となり、市長と市政について語る会を行ってきましたが、しっかりと色々なアプローチをしていただきありがとうございました。また、12月19日に自治会長さんを対象にした小規模多機能自治の研修会があり、重要な内容がそういうところに含まれていると思います。人口が少なくなる中で、どのようにこれからの地域を作っていくのかが重要なポイントになるのではないかと思います。

大きく動いた年ではありましたが、冷静な目でもう一度前を見ていくのは必要だと思います。周りが目まぐるしく動く状況がある時には、一步立ち止まることも必要だと思います。本当に今年1年ありがとうございました。また良い年を迎えられるように頑張っていきたいと思いますのでよろしくお祈りします。

3 前回議事録の承認

11月25日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○市議会についてですが、代表質問は6会派から、一般質問は4名から質問をいただき、11月は代表質問となりますので、幅広く様々な施策への質問がありました。教育委員会の主なものとしては、一体校の今後の整備について質問されたので、「はまぼう学府」を検討すると発表しました。また、過去に提示した一体校の整備順序工程案について、現在ではこの案をもう使わないことを答弁させていただきました。さらに、本日の議題にあります。給食費保護者負担金の次年度全市統一改定は見送ると発表しました。他にも多くの質問に丁寧に回答させていただきました。

コロナ関連ですが、市では3回目のワクチン接種が始まりました。10万円の給付金については支給の方法や時期などを検討し、本日、報道発表のとおり年内に10万円を現金振り込みで一括支給という形を取らせていただきました。引き続き市民と子ども達の安全安心に努めてまいります。

<質疑・意見>

なし

5 議事

- ・議案第52号 豊岡地区の持参米飯の見直し並びに令和4年度磐田市立小学校及び中学校の給食費について

○豊岡地区で実施されている持参米飯は、前回の教育委員会で説明したとおり、衛生面の不安等を解消するため、令和4年度から委託炊飯に切り替えることとします。この持参米飯は合併前の旧豊岡村時代の1976年から40年以上続いてきた伝統的な取組みであり、愛着を持つ地域住民が多いと聞いていることから、各学校に協力をお願いする中で後世に持参米飯の歴史や精神を継承していく取組みを行います。

次に令和4年度の小中学校の給食費の額についてですが、持参米飯から委託米飯に切り替える豊岡地区を除いて令和3年度と同額とします。改定する豊岡地区の保護者負担金は、同様の米飯提供方法をとっている他地区と同額とし、一食当たりの保護者負担金は小学校が237円から270円に、中学校が279円から320円にそれぞれ増額することとします。これによる改定幅は、小学校が1食当たり33円、中学校が41円で、月額に換算すると小学校が550円、中学校が680円の値上げとなります。この件については、12月13日に開催しました学校給食運営委員会において承認をいただいています。なお、学校給食費については、磐田市学校給食条例第5条において、「市長は、学校給食費の額について教育委員会の意見を聴いて決定するものとする」と規定されていることから本議案で承認をいただくものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第52号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 地域づくり応援課

○事業の予定ですが、12月19日になぎの木会館で小規模多機能自治の講演会があります。また、年明けの1月9日に「イワタハタチ2022」という成人のつどいを開催します。本日お手元にリーフレットを用意しましたが、今週中に発送を予定しています。内容的には昨年とほぼ同様ですが、今年はジュビロスタジアムの開放にご協力いただき、メインの会場にはなりますが、密を避けるため式典方式ではなく、時間を区切り、中学校単位の記念撮影の時間を設ける形で考えています。このリーフレットの今回のモデルは市の観光大使にお願いしたため、新成人の方ではありません。

<質疑・意見>

■フォトコンテストなど内容的な部分も昨年と同じですか。

□同じです。今後報道されるかもしれませんが、新型コロナウイルス感染症が現在は落ち着いたこともあり、県内の各市町は元の会場型の式典方式に全て戻しますが、磐田市だけは戻しません。良くも悪くも色々な意味で取り上げられるのではないかなと思います。磐田は磐田方式という形で良いのではないかと思います。親御さん達からは、なぜ磐田はやらないのかという声が入っていますが、コロナの状況がどうなるか分からない中では適切な判断だと思います。

■緑十字「浜小屋」一周年記念について詳細を教えてください。

□緑十字機の活動に対して年間約15万円を地域づくり補助金として出している関係もあり毎回行っています。浜小屋というのは常時設置されている訳ではなく、イベントをやる時に関連するグッズの展示などを行い、最初は鮫島海岸の駐車場を使っていましたが、今は醍醐荘さんの駐車場を借りたり、交流センターを使ったりと、色々な形で展示や語り部の人達が当時のことをお話するようなことを行っています。

□私の所にその案内が届いていましたので少し補足しますが、元々は終戦直後に不時着した飛行機を助けたということで、そういった史実を広める活動をしているのですが、今回は野菜や地場産品を持ち寄って販売などをされるようです。出店も受け付けていて、そういったイベントをやるので是非来てくださいという案内がありました。

（２）幼稚園保育園課

<質疑・意見>

なし

（３）教育総務課

・向陽学府小中一体校建設検討会要領の制定について

○向陽学府小中一体校整備基本実施設計業務委託受託候補者選定プロポーザル二次審査についてですが、審査日時は令和4年1月12日水曜日午後1時15分から、場所は西庁舎3階304、305会議室で行います。1月中旬に結果を公表し、2月上旬に契約締結予定です。その後、基本設計に入りますが、向陽学府小中一体校建設検討会を令和4年7月末日までに4回、ワークショップを3回実施予定です。この建設検討会の要領が今回の報告内容となりますので資料をご確認ください。

検討会委員の構成ですが、向陽学府新たな学校づくり検討会の委員構成と同じです。今後業者が決まり次第、日程、検討内容を詰めていく予定です。

<質疑・意見>

■これまで検討会を行ってきたと思いますが、この建設検討会は向陽学府の人達ではなく、教育委員会で設置するということですか。

□これまでは新たな学校づくり検討会を行い、向陽学府小中一体校等整備基本構想・基本計画を作成しましたので、今後建設検討会を行うために教育委員会が設置します。

□具体的に建設に関わる検討になります。流れとして、はまぼう学府を例にすると、地域の方々が自主的に集まって大体8回程度検討会を行い、その後要望書を提出するという流れになります。

■ある程度検討会を行い、要望をるところまでは地域の方々がやるということですか。

□そうです。向陽学府も要望書を提出する時には、自治会の方々だけではなく、色々な立場で話し合ったものを要望書としてまとめていただいています。それが全員ではないという発言をする方もいますが、自治会の皆様方または地区長さんや支部長さんについては丁寧にいただいています。

○その方々が住民の代表者なので、当然皆さんはその代表者にある程度お任せしている訳ですから良いと思います。

（４）学校給食課

・学校給食における危険異物の混入事故について

○令和3年12月1日水曜日に大原学校給食センターで発生した危険異物の混入事故について報告します。本件は、調理したフルーツカクテルの中に危険異物である約8mmの金属片が混入したものです。幸い、喫食前に生徒が発見して取り除いたため、異物が口にされることはありませんでした。この金属片はその後の調査により、フルーツ缶の切れ端であり、開缶の際に2度切りが行われたことで発生し、混入したものと判明しました。事故後は学校給食課長が学校へ出向き、生徒に健康被害が無いことを確認し、同日夕方同校の教頭が保護者に謝罪をしたところです。なお、当該校以外

で本件と同様の事態は発生していません。

次に事故の原因者である調理等業務の委託業者についてですが、事件の翌日12月2日に口頭で、翌3日には文書により厳重注意をする中で、再発防止策について書面による提出を求めました。12月8日に受領した再発防止策には、自動開缶機はマニュアルを遵守する中で適切な方法で使用する、本来の開缶方法でない2度切りを行った際には速やかに上司に報告し、適切に対応することが報告されています。また、その他の調理場についても、本件の情報を共有するなどして、二度と同様の事故が発生しないように注意喚起をしました。

この度は皆様にご心配をおかけすることになり誠に申し訳ありません。今後は本件のような事態が発生しない策を講じることを含めて、更に安心安全な給食を提供するように努めます。

<質疑・意見>

■缶の形状と開缶の方法を教えてください。

□大きめの丸い缶にミカンやフルーツが入っていますが、大原給食センターは51缶その時に使ったそうです。それらを速やかに開缶するための自動開缶機にかけて開缶します。通常は機械に置台というのがあるため、そこに缶をセットして開缶するというやり方が本来なのですが、その業者は置台を使わず、手で支えて開缶作業をしていました。たまたまその日は開缶作業に不慣れなスタッフが従事していた関係で、1回目で上手に切れず、2回目を手切りで開けた際に破片が発生してしまったということです。本来、開缶時に2度切りをしたときは、他のスタッフとそのことを共有してそこに異物が入っていないかを確認するべきですが、それがなされないまま材料として調理に使用してしまったということで金属片の混入を防止できなかったと聞いています。

■マニュアルどおりにやっていなかったということですか。

□そうです。業者へ速やかに是正をかけ、正しいやり方で開缶するよう現場は共有していると報告を受けています。

(5) 学校教育課

○「ESPEAK 試行」について説明します。今までのSPEAKプロジェクトというのは中学校で行っていましたが、昨年度から小学校が外国語という教科指導になり、SPEAKプロジェクトの小学校版を行ってみようということです。いきなり全校というと、不備があったときに変えていくのが難しいため、今年度は岩田小学校と竜洋西小学校が試行で行います。予定としては来年度2つか3つの学府で行い、修正を加えながら、令和5年度に市内全小学校の6年生を対象にして実施します。楽しみながら英語の力を付けていけたらと思います。

<質疑・意見>

なし

(6) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(7) 文化財課

○年明け1月8日から文書館の展示が中央図書館の展示ホールで始まります。その展示物の中に、昔の磐田北小学校のミニチュアジオラマがありますが、それを作り寄贈していただいた方をお招きしながら、教育長にもお越しいただき、寄贈式を1月8日の土曜日の開館後すぐに行おうと思いま

す。ミニチュアジオラマは大体 1 m30cm くらいで、正方形ではなく少し歪になっていますが、150分の1か200分の1程で、かなり大きなものになります。往年の磐田北小学校を再現したものになっていますので、もしお越しいただいた際にはご覧いただきたいと思います。

翌日の9日には歴史学習会で、講師として和崎光太郎先生をお呼びします。この方は歴史文書館の委員をやっていただいている方で、「学校に眠るたからもの」というテーマで学校の関連文書を素材にしたお話をしていただく予定です。

<質疑・意見>

○1月8日は寄らせていただこうと思っています。磐田北小学校のミニチュアジオラマの話ですが、私は磐田北小学校に2年間、まだ木造建ての頃に通っていました。南の方の校舎が木造で残っていて、北側の方が先に新築になったのを覚えています。

○このミニチュアジオラマは文書館の展示期間中は中央図書館で、終了後は旧見付学校に展示をする予定です。

7 協議事項

なし

8 その他

○12月3日に大藤小学校の学校運営協議会に出席しました。地域の方やPTAの方が積極的に発言されて良い協議会だったと思います。その中で、地域の方からの要望について報告します。

笠梅から大藤団地や匂坂の方に向け抜けて行く道の交通量がかなり多くなってきていて、あの坂付近の通学路に歩道があり、ガードレールが無い箇所があるらしく、設置の要望を出しているがなかなか話が進まないという話がありました。向陽学府一体校になった時も、そういった通学路の事故は気を付けて欲しいということでした。また、大藤地区の地区長さんとの話で、跡地利用について真剣に考えられていて、大藤地区はかなり進んでいるように感じました。まだ向笠地区は話が始まっていないということだと思いましたが、地域としても新しい学校に期待していて、跡地を有効に使い、地域のために活性化することに取り組んでくれていると感じました。

○市政懇談会を8回行いましたが、半分以上通学路の問題が出てきました。千葉県八街市や菊川市で通学路の事故ありましたが、今回はソフト面に注意すべきで、例えばながふじ学府に関しては、合計で62か所に通学路に関する意見が出ていますが、その内60か所には対応しています。先ほどの箇所は県道だと思われるため、ガードレールについては自治会から磐田市の道路河川課へ要望し、そこから県へ確認をしていると思います。途中経過がどうなっているのかについては、道路河川課へ確認し、後日報告します。跡地利用については、色々な意見を聞きながらやっていけるようにしたいと思います。通学路は様々な問題がありますが、道路河川課も何かあったらすぐ対応してくれていると思います。

9 次回教育委員会の日程確認

・定例教育委員会

日時：令和4年1月28日（金）午後3時00分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会